



古代の人々が

信じた

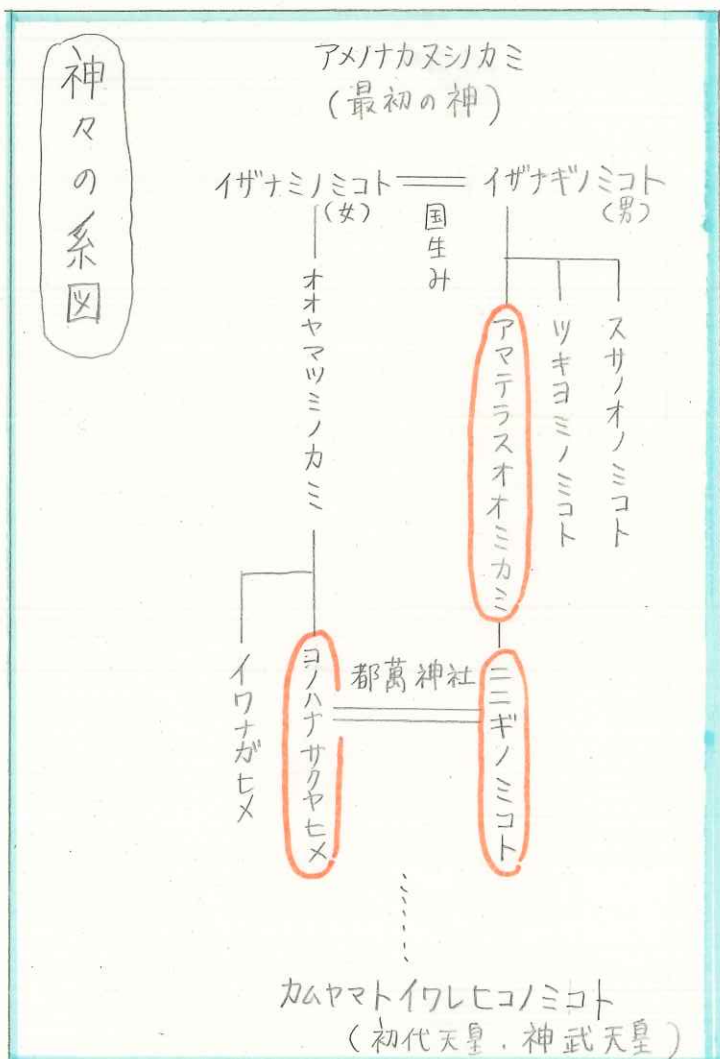
神様

まず!

「神様」というテーマにしたきっかけ

「古墳」とは、生前地位が高かった人が亡くなった後葬られるお墓のことである。神様も位が高かったはずで皆に信仰されていたはずだから、そんな神様のお墓はどんなものなのか、どのようなものが入っていたのか気になったから。

古墳時代の神様



〈神話〉

神話の中心となるのは天照大神(アマテラスオオミカミ)の孫「ニギノミコト」と「ヨノハナサクヤヒメ」にまつわる話。ニギノミコトは降臨した地から、やがて広く豊かな土地を求めて西都原に進出をはかる。そこで山の神であるオオヤマツミノカミの娘、ヨノハナサクヤヒメと出会い結婚。この出会いから出産にまつわる伝承が、西都原一帯に色濃く残されており、現在は「記紀の道」として神話探索コースとなっている。

ニギノミコト



コノハナサクヤヒメ



出産
すごい話

→ ニギノミコトはコノハナサクヤヒメの懐妊を告げられる。

一夜限りの逢瀬で子どもを授かったことが信じられない

ニギノミコトは、姫の負節を疑い、「子供は他の国の神の子ではないのか」と、姫の心を深く傷つけた。

あらぬ疑いをかけられた姫はある覚悟を決めた。



『もし生まれてくる子がほかの国つ神の子で

あるなら無事に生まれてはこないでしょう。

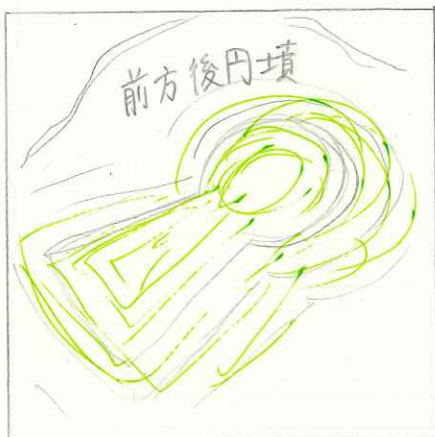
しかし天つ神ニギノミコトの子であれば

きっとたとえ火の中でも無事に生まれてくる』

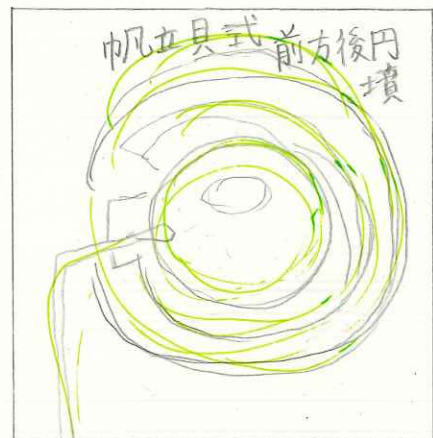
そう言て、出口のない産屋にこもった姫。出産の時間が近づき、

姫は産屋に火を放った。燃えさかる炎の中で無事に

in コノハナサクヤヒメ 3人もの子を産み、姫は身の潔白を証明した。



女狭穂塚 (コノハナサクヤヒメのものとする)



男狭穂塚 (ニギノミコトのものとする)

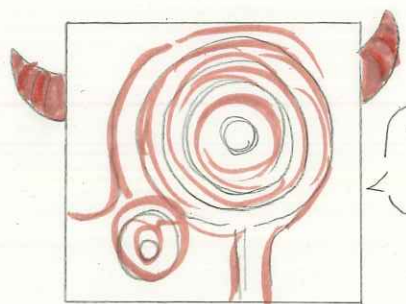
オギャア
無事!

他にもあるよ！神話

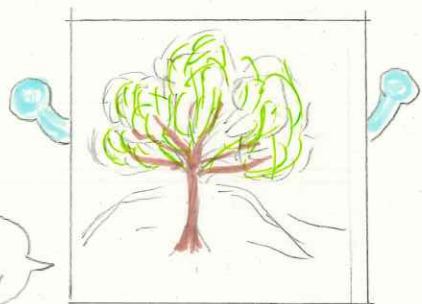
発想が天才

< 鬼の窟 (おにのいわや) >

昔、西都原に鬼が住みついていた。
 ある日 鬼はコハナサクヤヒメに目をつけ、その父 オオヤマツミに申し込むと
 「一晩で大きな岩屋を作り上げれば嫁にやる」とのこと。
 しかし力持ちの鬼は夜明け前に完成させ居眼りを始めた。
 そこへやって来たオオヤマツミは、娘と鬼を結婚させるわけにはいかないと
 鬼の眼、ているすきに石をひとつ抜きとって投げ捨て、縁談を断った。



娘さんを僕に
 ください！
 娘は
 わたさん！



鬼の窟古墳 (おにのいわやこふん)
 (鬼が完成させたものと
 いわれる。石をひとつ
 抜きとった跡ものこる)

大山祇陵 (おおやまつみりょう)
 (山の神 オオヤマツミの御陵と
 いわれる。後期様式柄鏡式
 前方後円墳)

もっと詳しく！

鬼の窟古墳



横山は東西約1200メートル、南北400メートル～600メートルの独立丘陵で、
 西端近くで南に延びる小山が接している。この横山の南斜面のほぼ中央部
 に位置する。

直径約20メートル、高さ7メートルの円墳で南に開口する横穴式複
 室墳だ。玄室の奥壁から羨道端までの全長9.6メートル、玄関の
 奥行3.58メートル、幅2.67メートル、床面より天井までの高さ3.77メートル
 奥壁と両側壁に石屋形を構築している。

神様 かも!!

古墳時代の神マツリ

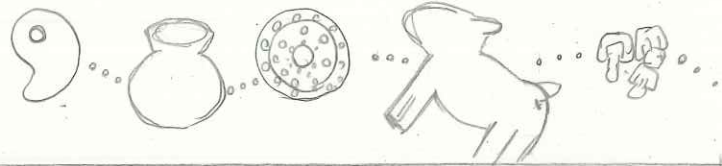


<子持勾玉>

古墳時代の祭祀遺跡は、交通の難所である山峠や岬離島などに多く見られた。これらは、我々の祖先が自然に神威を感じ、神々を畏れ敬って、祈りを捧げてきた姿を伝えている。そうした神々を鎮めるために、様々な奉獻品を手向けた場所が祭祀遺跡と考えられる。

祭祀遺跡の!

出土遺物



前期

4世紀

銅鏡、石製品、玉類、農具などを象った滑石製模造品が中心

中期

5世紀

小型・多量化する滑石製模造品、須恵器、鏡形、武具形、機織具形、酒造具形等々

後期

6世紀

鈴鏡、鐸、農具形、人形、馬形などの多様な土製模造品



奉獻品の多様化



人々の神々に対する観念が次第に豊かになっていった。

そもそも!

神様の定義は?



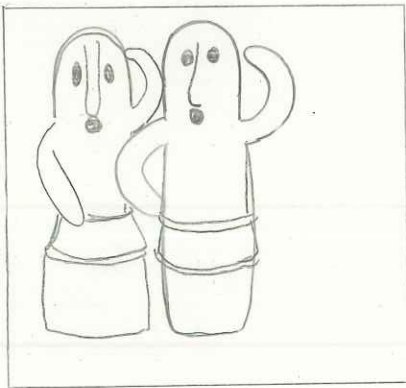
「神」とは宗教信仰の対象、一般に絶対的、超越的な存在とされ、原始信仰の段階では、人間を超えた力と考えられ、高度宗教では超越的な力を有する人格的存在とされている。

なるほど...

知っていますか？

出土品にこめられた意味

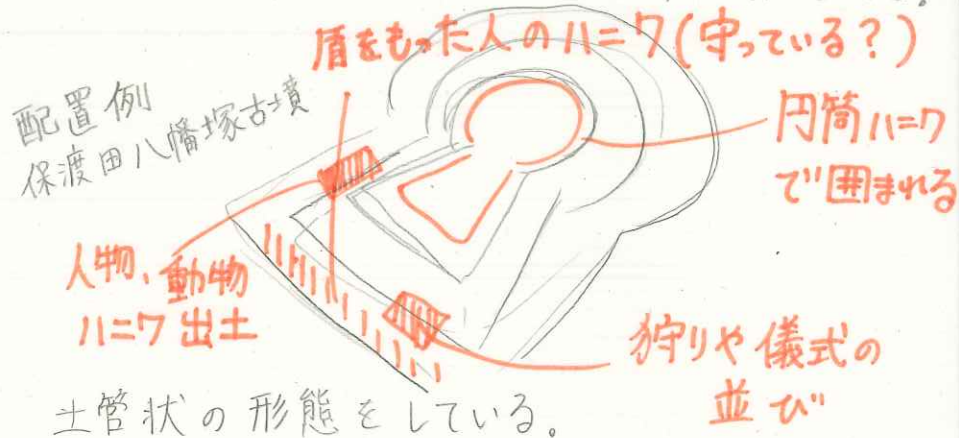
1. 人物埴輪



有名な「踊る埴輪」

※ 殯 ... 日本の古代に代わっていた葬儀礼。

形象埴輪の一つ。職能集団、楽人(能)集団、饗宴集団、祭祀集団などが表現されている。殉死の代用とか、葬列、殯(もがり)などと解釈されているが、首長権の継承式を表したものとする説もある。



2. 円筒埴輪



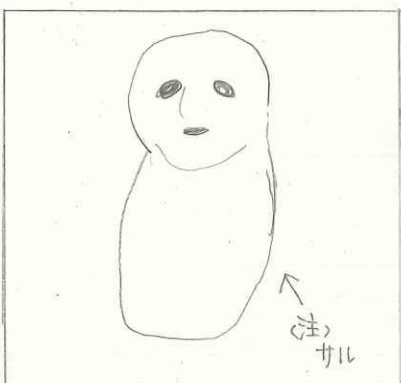
因みに藤岡の七輿山古墳のものはとても大きく立派。

土管状の形態をしている。

埴輪の中で一番早く登場している。

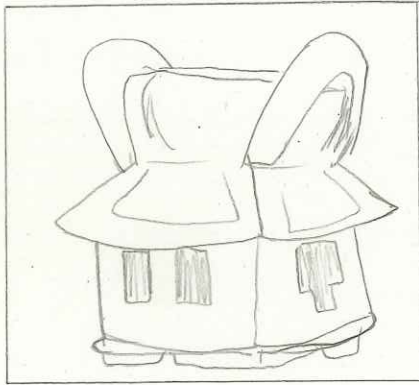
死者にささげる食べ物を入れたり、外部の者が古墳に入れなくするための柵となったりと様々な役割があった。

3. 動物埴輪



水鳥、馬、ムササビ、猿などは所有していることを示していて、犬や猪、鹿、鶺鴒、魚、鷹飼いななどは狩猟そして獲物を主要なテーマとして作られた。鶺鴒は異なる意義があったようで、結界のように世界を分ける意味があったのかもしれない。

4. 家形埴輪



古墳の中でも埋葬施設に近く、中心に置かれる。

この埴輪は、亡くなった、被葬者の魂の依代(かりしろ)となることから、一番重要な"と"考えられる。また、「目覚め」から鶏の埴輪がよく近くに置かれた。



群馬にも! まっりがあつた?

中溝・深町遺跡 (太田市新田小金井町 320-3)

太田市新田小金井町にある4世紀末~5世紀初めの古墳。

北部から大規模な掘立柱建物跡と2基の石敷き井戸が発見された。これらは、「水のまわり」を行った場所であろうと考えられている。

この遺跡の北側には、豪族居館の存在を想定させる溝跡、南西側には一般庶民の集落が発見されており、これらの遺跡群全体から、当時の「ムラ」のようすが明らかになった。

Point ①

まっりの場所



2基の井戸はほぼ同じ規模で平行に並び、正方形に柄を付けたような形に石がおかれていた。全国的にもめずらしい。



Point ②

様々な出土品



住居にはおれない銅鏡の破片、ガラス玉、穴をあけた壺が出土

農具も良い状態で残っていた。

すごい!

豪華~!

皇族の古墳

キトラ古墳

二段築成の円墳で、上段が直径9.4m
テラス上の下段が直径13.8m、高さは上段下段
合わせて4mを少し超えると考えられる。

作られた時代

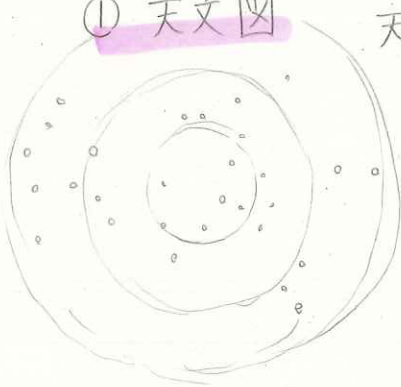
7世紀末~8世紀初め頃だと推測されている。
終末期古墳とよばれ、小さくなっている。(大きさが)

誰の古墳?

天武天皇の皇子である、高市皇子、高官であった百濟王昌成
「阿部山」という地名であることから、右大臣の阿部御主人
など、いろいろな人物が想像されている。

何についても見どころは「壁画」!

① 天文図



天井に描かれた天文図は
現存する**世界最古**の
天文図。
北斗七星、太陽、月
などが描かれている。

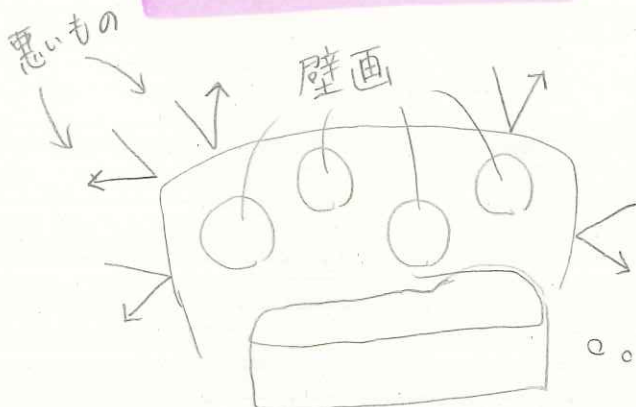
② 四神像



白虎の頭が北を
向いて珍しい。

朱雀の躍動的な
姿も珍しい

③ 獣頭人身十二支像



キトラ古墳壁画の特徴の一つで、動物の頭と、人間の体
で十二支をあらわした獣頭人身像が描かれている。
古代中国では、この人形を置く風習が。

この場壁画として描き、葬られた人の**魂**を守っていた

安心い
眠れる!

<感想>


思っていた以上に古墳には、神話や神(皇族)が関係していることが分かった。宮内庁の許可なく調査ができないものもまだあるらしいので、はやく許可が降りてほしいなと思った。昔の人の故人への思いや、尊敬が古墳には表れていてすてきなと思った。また、家形埴輪の近くに鶏の埴輪を置いていわゆる「目覚まし」のようにしていたり、古墳の一番外側に盾を持った埴輪を置いて守ろうとしたりと、想像力が豊かで調べていて面白かった。またもっと深くまで調べたい。

<調べるのにつかったもの>

- ・東国文化副読本 ~ 古代ぐんまを探検しよう~
- ・集まれ! ぐんまのはにわたち

インターネット

- ・国営飛鳥歴史公園 ホームページ
- ・ぐんま県 ホームページ
- ・wikipedia
- ・東京国立博物館 ホームページ
- ・西都原古墳群 ホームページ

 お読みいただきありがとうございます! ございました!

<お感想>ここにのりをつけて、作品の最後のページの下に貼ってください